

フェスティバル FUKUSHIMA! 2021

The Will to Cross Borders

越境する意志



岩根愛・ちばふみ枝・中崎透・中村葵・藤井光

Ai Iwane / Fumie Chiba / Tohru Nakazaki / Aoi Nakamura / Hikaru Fujii



2021. 8. 15 ① ~ 10. 17 ① 12:00 ~ 18:00

※土日祝日のみオープン

@ 福島市 四季の里 / 憩いの館

The Will to Cross Borders 越境する意志

ちょうど 10 年前の 2011 年 8 月 15 日、福島市にある四季の里の芝生の上には、6000 平米にも及ぶ色とりどりの大風呂敷が広げられ、「フェスティバル FUKUSHIMA!」が開催された。以後毎年 8 月に、2013 年以降は盆踊りを中心とした福島市内でのフェスティバルを開催してきたが、昨年 2020 年はコロナ状況下において中止となった。「フェスティバル FUKUSHIMA! 2021」と題して、今年は四季の里を会場に、夏からの展覧会や、秋に大風呂敷を広げたイベントやライブ、ワークショップといった一連の企画をフェスティバルとして開催することを予定しているが、こんなご時世だけに予定は未定になるかもしれないが、とりあえずはジタバタしてみる。

この 5 人の作家の展覧会「The Will to Cross Borders / 越境する意志」では、東日本大震災から 10 年という時間を一つのテーマとして作家に声かけすることから始めているが、各作家の作品のすべてが必ずしも震災や震災後の福島を主題にしてるわけではない。けれども以前から当然のことようにあったもの／なくなったもの、震災を通して可視化されたもの、時間が経ったから動き出したもの、現在のコロナ禍で浮かび上がるもの、個人の小さな出来事や意思が世界と繋がっていること、そんなことを想起させる。時間や様々な分断や違いを踏み越えようとするささやかな一歩の積み重ねの見えるような場所であつたらいいし、きっとそういうことだからしか世界は変わらないと思っている。県境を跨ぐことすらも憚られるような状況の中で、なんとも皮肉めいたタイトルになってしまったけれども、なんでも軽々と飛び越えてしまうような自由な気持ちはいつでもギュッと握りしめていたい。

中崎透 (美術家 / 本展キュレーター)

artist :	岩根愛	Ai Iwane
	ちばふみ枝	Fumie Chiba
	中崎透	Tohru Nakazaki
	中村葵	Aoi Nakamura
	藤井光	Hikaru Fujii

2021. 8. 15 (日) ~ 10. 17 (日) 12:00~18:00

※ 土日祝日のみオープン

観覧料：一般 1000 円、小学生以下無料

10. 16 (土)、17 (日) にクロージングイベントを開催いたします。四季の里の芝生に数十枚の大風呂敷を広げライブ・ワークショップを予定。詳細は web にてご確認ください。



※ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響などから直前での会期、開館時間に変更になる場合があります。

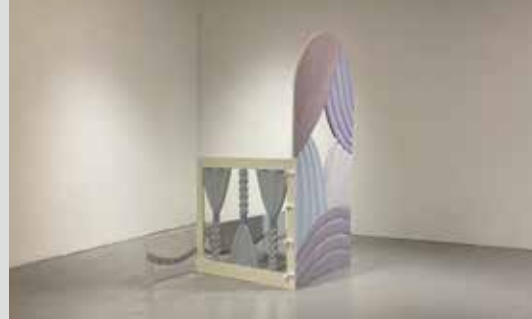
キュレーター：中崎透
会場構成：アサノコウタ
主催：プロジェクト FUKUSHIMA!

会場：福島市 四季の里 / 憩いの館
〒960-2156 福島市荒井字上鷲西 1-1

お問い合わせ：特定非営利活動法人プロジェクト FUKUSHIMA 事務局
Tel : 024-573-8385
Mail : profukushima@gmail.com
www.pj-fukushima.jp

【新型コロナウイルス感染症対策について】

- マスク着用・検温・手指消毒にご協力ください
 - 会場内の人数を制限しています。
- 会場内の鑑賞者数に応じて会場の外でお待ちいただくことがあります。



上から：

- 岩根愛「No Man Ever Steps in the Same River Twice」2020年
 - ちばふみ枝「くすんだペール」2021年
 - 中崎透「Red line in the forest」2021年 photo : Koji Nishikawa
 - 中村葵「Reloaded Body -head-」2019年
- 協力：アンドロイド開発、共同研究＝石黒浩、小川浩平（アンドロイド制作）、池上高志、土井樹（アンドロイドプログラミング）
- 藤井光「解剖学教室」2020年

表面 / 上から：

- 藤井光「解剖学教室」2020年
- 岩根愛「No Man Ever Steps in the Same River Twice」2020年